

ユキヤナギ

Spiraea thunbergii Sieb. ex Blume

バラ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における自生地がごく限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

落葉低木。高さ1~2mで叢生し、斜上するか弓状に曲がる。葉は線状狭卵形、形がヤナギに似ている。花は径約8mm、白色5弁。2~7個が集まって散形花序をつくる。

国内分布

本州(関東地方以西)、四国、九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

花期は4月。葉の細いユキヤナギは流水に対する抵抗が少なく、根はしっかりと岩の間隙に入り込んで体を保持し、枝はしなやかになりびいて抵抗を少なくする。また、たとえ引きちぎられてもその再生力は抜群で、流水が他の植物を排除してくれる岩場では、かえって安全に生活できるのである。庭園樹や緑化樹、また、切花用などとして広く植栽される。

生育環境

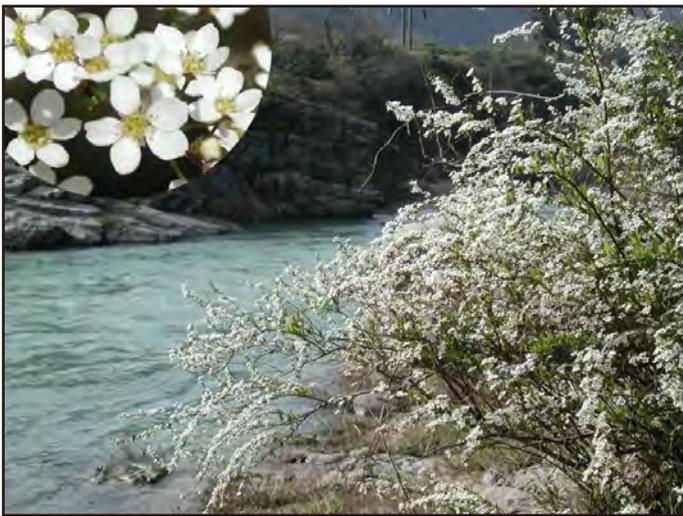
河岸岩壁。

危険要因

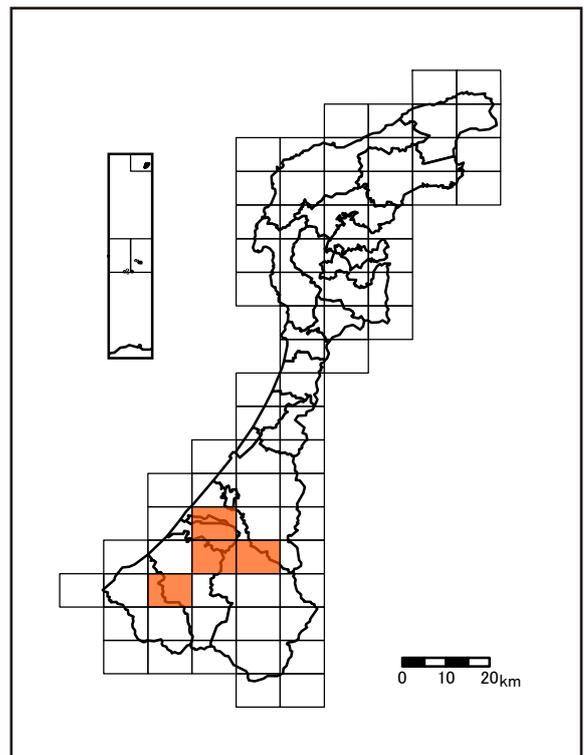
自然遷移、産地局限。

特記事項

本調査では中能登区からの報告もあったが、逸出かもしれないとの注釈があり、県内分布では省くことにした。



本多郁夫・2003年4月16日・白山市



県内の分布